

H25年度管理計画に基づく保全施策の進捗等（基礎資料集からの抜粋）

遺産登録後の変化

入島者、入林者、属島利用者の増加は落ち着きました。

保全施策の進捗

2つの大きな危機的状況がありました。

- ・ 兄島のグリーンアノール
- ・ 父島鳥山地域のニューギニアヤリガタリクウズムシ

地域的な課題の取組

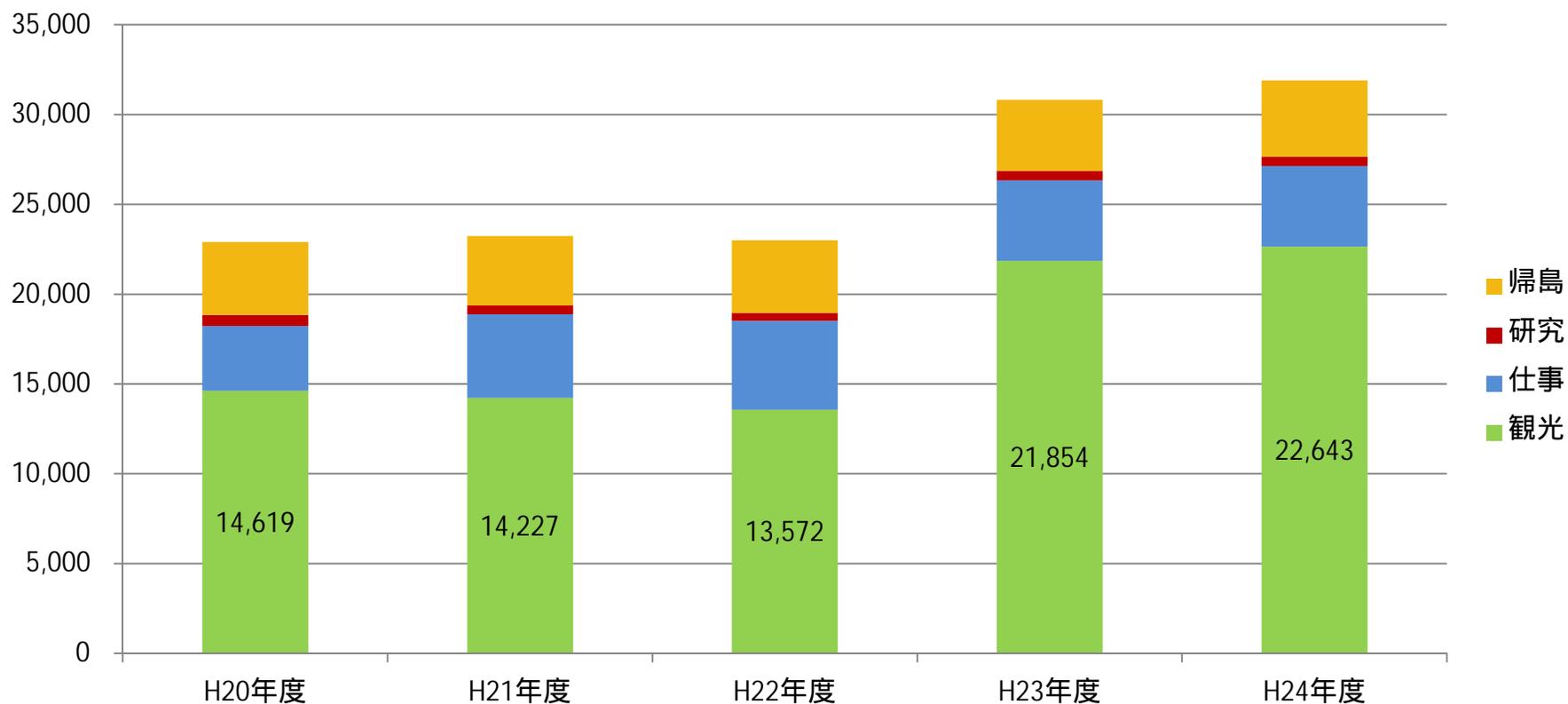
平成25年度も、村民意見交換会を実施し、新たな外来種の拡散、愛玩動物対策、環境教育等について議論しました。



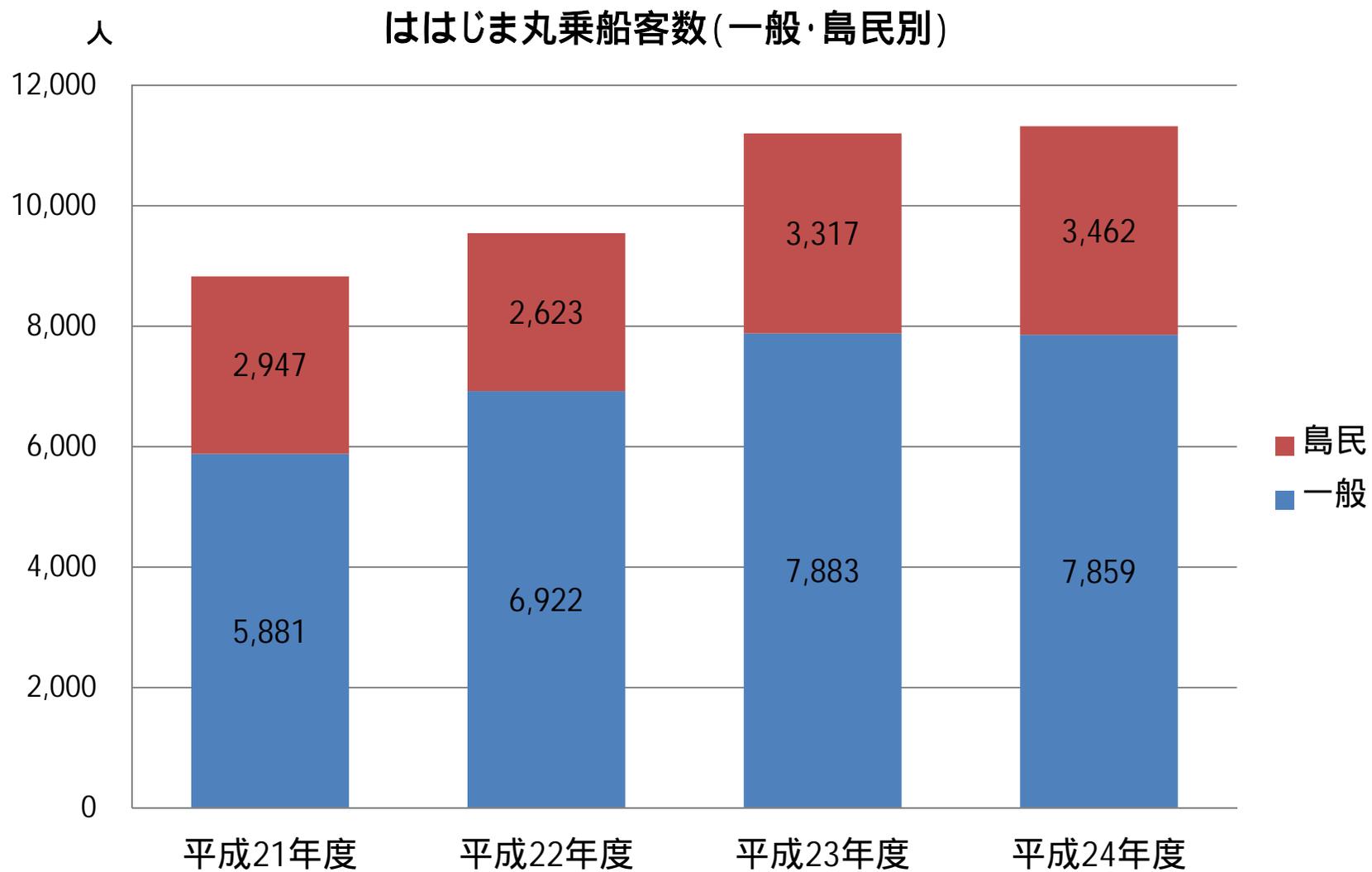
- ・ 新たな外来生物の侵入のリスクは、依然高い。
- ・ 絶滅の恐れのある種の緊急的な保護が重要。
- ・ 地域の課題にきめ細かく取り組む必要がある。

来島者数（おがさわら丸 目的別）

平成24年度のおがさわら丸での来島者数は、世界遺産登録された平成23年度を上回り、過去最高の22,643人（観光目的）を記録しました。研究者・帰島者・仕事での来島者はほぼ横ばいでした。



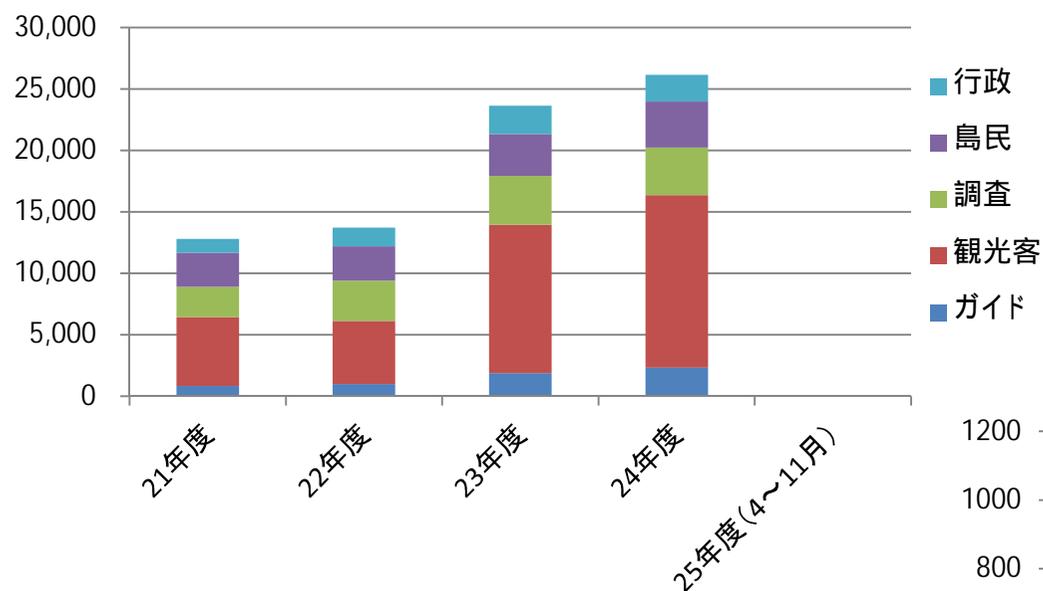
来島者数（ははじま丸）



入林者数の推移（父島、石門）

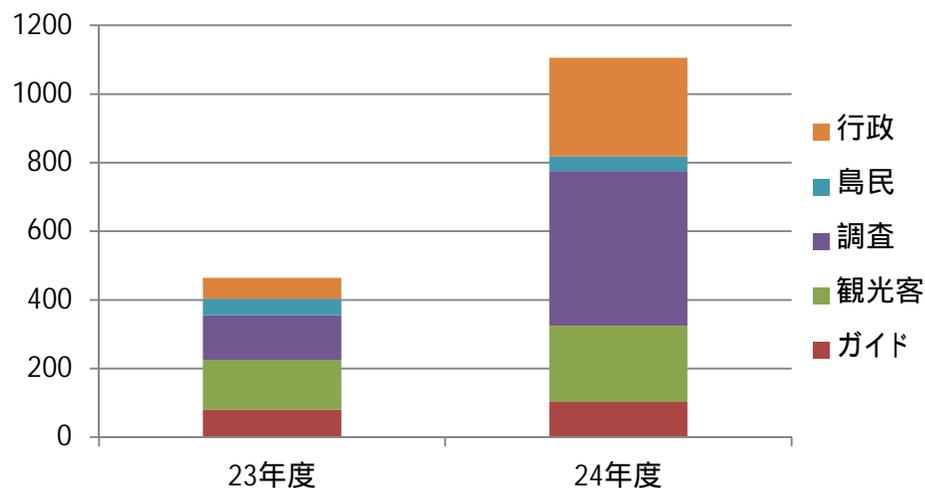
遺産登録後、父島の指定ルートでは、入林者の増加が見られます。また、母島の石門の入林者数も増えています。

父島指定ルート利用人数



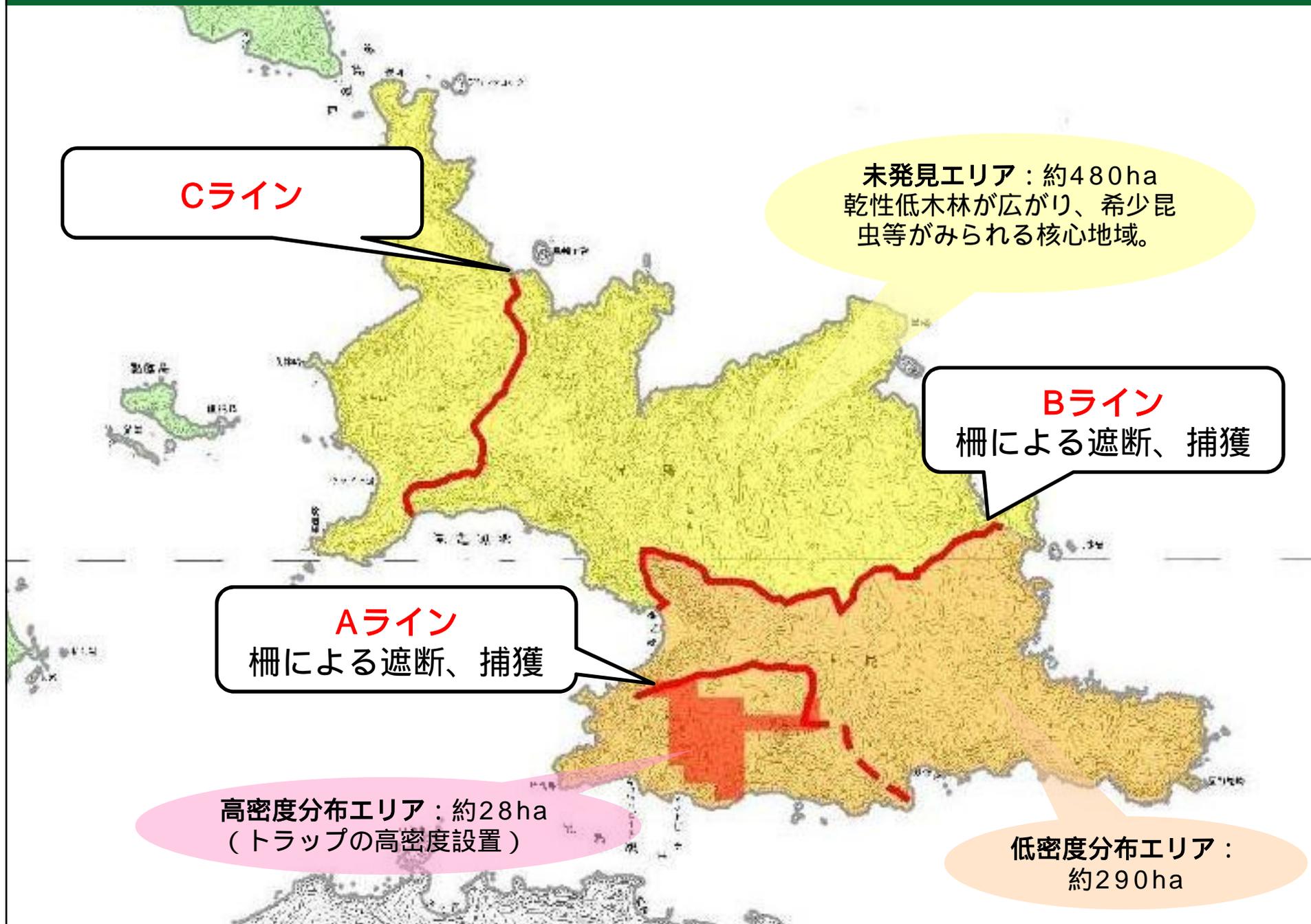
観光客、事業者、調査者も増加。

石門入林者数



(出典)
父島: 林野庁
母島石門: 母島観光協会

兄島グリーンアノール対策（防除の考え方）



Cライン

未発見エリア：約480ha
乾性低木林が広がり、希少昆虫等がみられる核心地域。

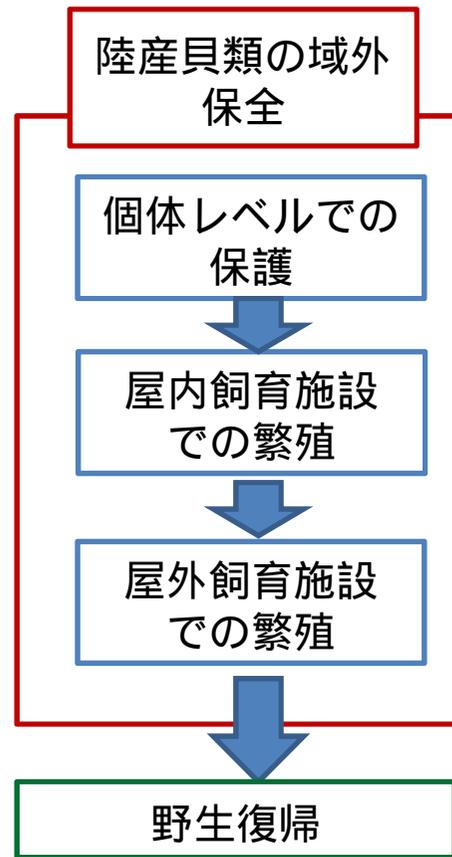
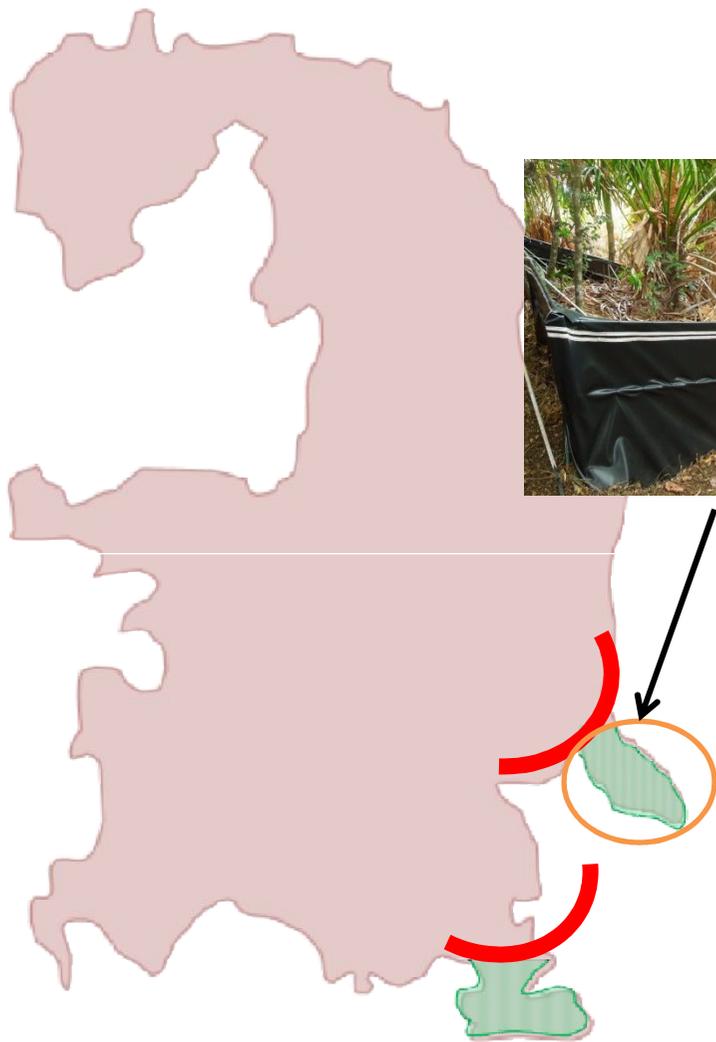
Bライン
柵による遮断、捕獲

Aライン
柵による遮断、捕獲

高密度分布エリア：約28ha
(トラップの高密度設置)

低密度分布エリア：
約290ha

父島鳥山におけるプラナリア対策、陸産貝類の保全



父島島内でプラナリアが確認されていないのはわずか。このうち、H25年10月に鳥山地域でプラナリアが確認された

環境省において、鳥山での柵の整備の他、父島島内の激減している陸産貝類を野外から緊急的に回収し、野生復帰の可能性も視野に入れつつ、域外保全を行っている。

ノヤギの捕獲

➤ これまでのノヤギ排除実績

(単位：頭)

年度		H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	計
聳島列島	媒島	136	137	144															417
	嫁島				79	2													81
	聳島				656	265	17	2											940
父島列島	西島						39	2											41
	兄島								78	161	87	61							387
	弟島												197	98	7				302
	父島														385	693	515	334	1,927
		136	137	144	735	267	56	4	78	161	87	61	197	98	392	693	515	334	4,095

平成25年度については11月末まで

➤ ノヤギ排除後の自然環境の変化

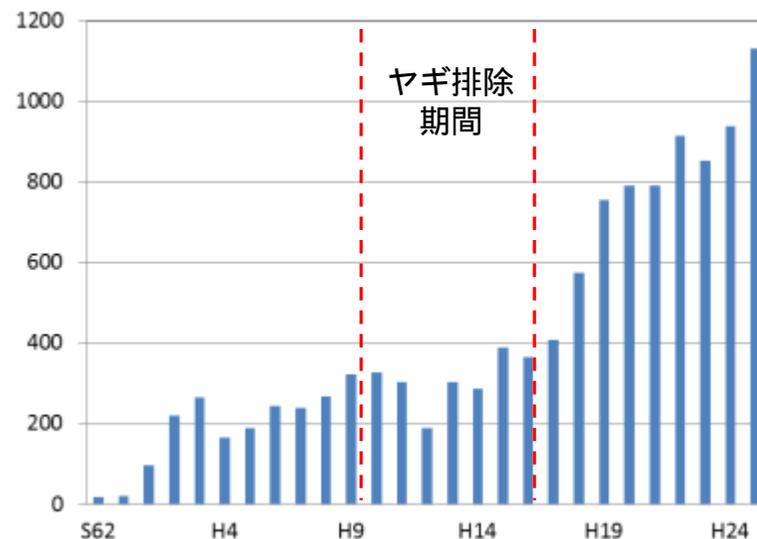
- ・ 在来樹木の稚樹や草本類が大幅に増加
- ・ 負の影響として、外来植物（キンネム、モクナシ等）の勢力拡大も確認

< 父島鳥山周辺での草本類の生育変化 > (左 H23.2 右 H24.1)



- ・ 海鳥類の繁殖も拡大傾向

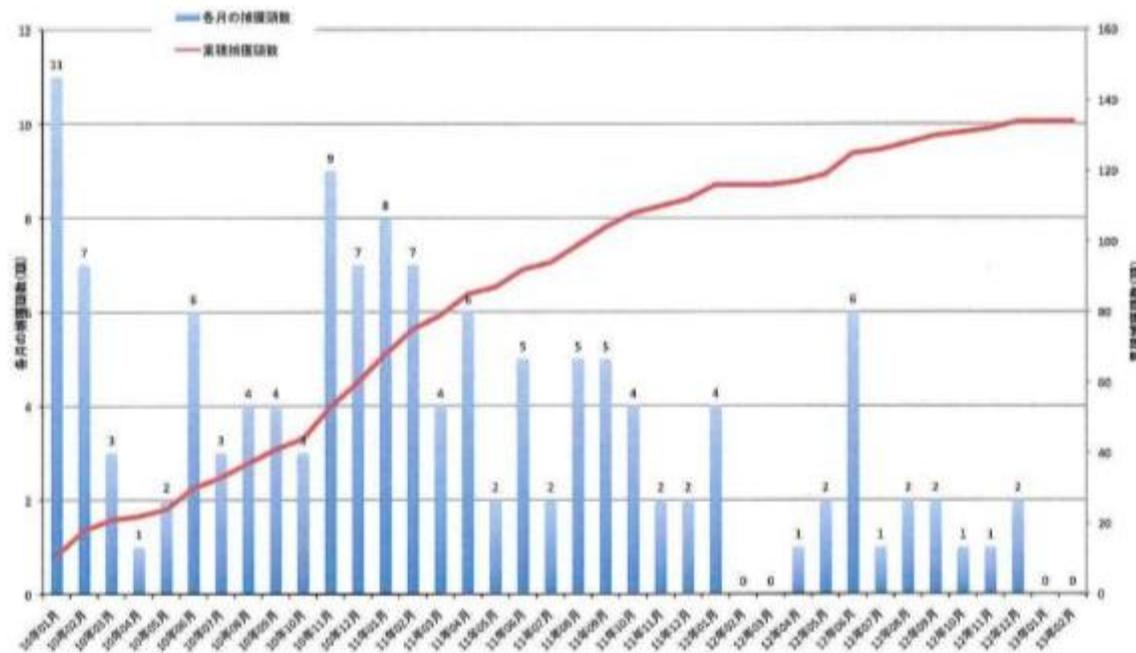
< 聳島列島でのクロアシアホウドリ繁殖数の変化 >



ネコへの対応の状況

父島の山域でのノネコの捕獲が進み、
山域のネコの確認頭数が減っています。
集落近くでのネコの対応も進んでいます。
結果、父島だけではなく、母島へのアカガシラ
カラスバトの飛来がみられるようになりました。

都獣医師会、小笠原海運、地域の協力を得て、
捕獲ネコは内地搬送、馴化、里親へ譲渡



- ・捕獲して、島外へ搬出
- ・侵入防止柵によるハトの重要繁殖地の防除
- ・適正飼養



アカシラハト状況

父島トラブル(H24-H25.10.31)

大村地区

H24.8.17 ネコ被害
・大神山公園(大村海岸)
・保護、上野搬送後、回復

H25.2.22 バードストライク
・首都大学施設
・死体で発見

H25.5.30 迷い込み
・小笠原中学校
・捕獲し、放鳥

H25.7.1 バードストライク
・小笠原中学校
・死体で発見

H25.7.11 迷い込み&バードストライク
・小笠原中学校に迷い込み
・保護し、放鳥

扇浦地区

H24.8.21 打撲
・扇浦海岸沿いの宅地内
・死体で発見

H24.8.31 交通事故
・扇浦海岸付近の道路上
・交通事故により死亡

H25.5.9 迷い込み
・宅地内に迷い込み、衰弱
・保護も、治療中に落鳥

H25.8.15 バードストライク
・都道看板に衝突
・死体で発見

清瀬地区

H24.6.20 バードストライク
・小笠原高校
・死体で発見

H25.6.2 ネコ被害
・森林総研圃場内
・保護、上野搬送後、死亡

奥村地区

H25.6.22 ネコ被害
・集落内
・死体で発見

H25.7.4 バードストライク
・集落内
・保護後、落鳥

H25.7.4 バードストライク
・集落内の村水道施設
・死体で発見

旭山地区

H25.3.30 交通事故
・都道沿い
・死体で発見

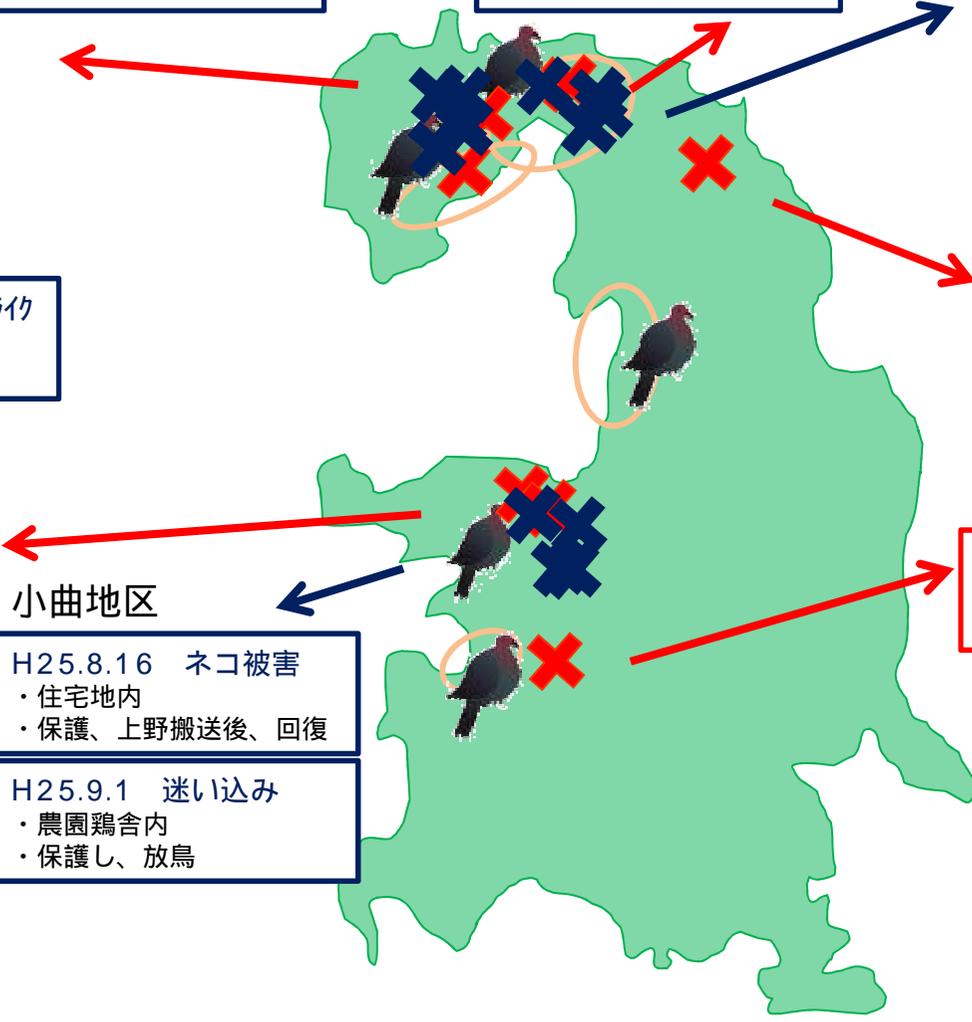
北袋沢地区

H24.7.20 衰弱个体保護
・都道
・衰弱个体を保護、治療2日後に落鳥

小曲地区

H25.8.16 ネコ被害
・住宅地内
・保護、上野搬送後、回復

H25.9.1 迷い込み
・農園鶏舎内
・保護し、放鳥



× × 事故地点
鳥 主なハト出現地点

アカ シラサバト状況

母島トラブル(H24-H25.10.31)

蝙蝠谷

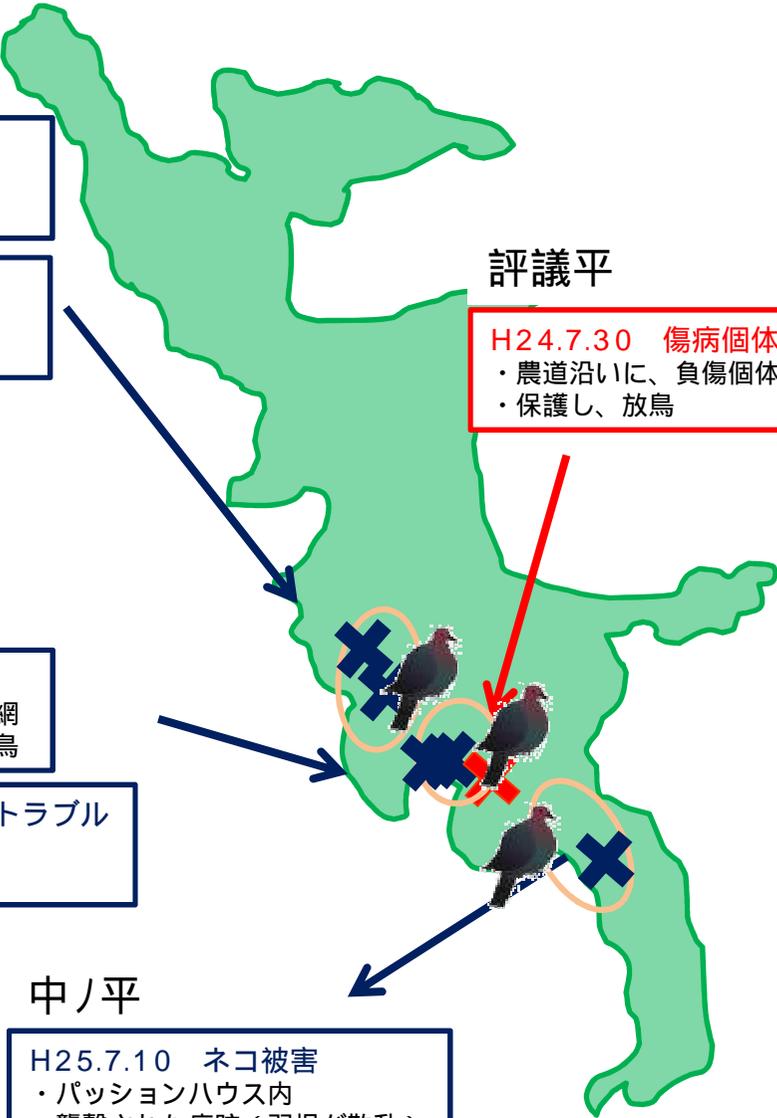
H25.7.6 ネコ被害
 ・都道沿い
 ・死体で発見(2羽)

H25.8.6 ネコ被害
 ・都資材置き場
 ・死体で発見

元地

H25.8.6 迷い込み
 ・月ヶ岡神社、落石防護網
 ・保護し、父島搬送、放鳥

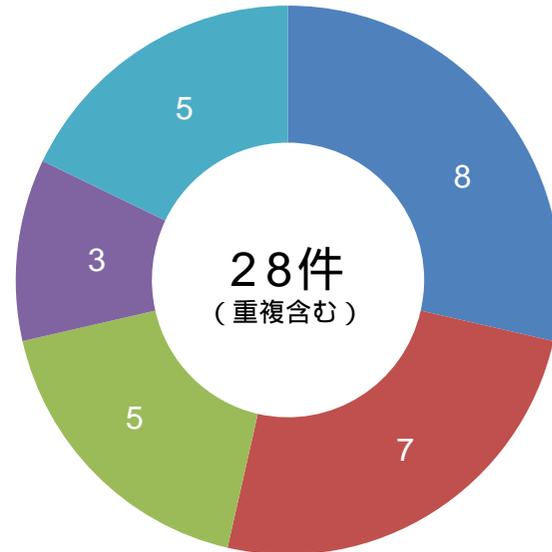
H25.8.23 捕獲中のトラブル
 ・月ヶ岡神社
 ・捕獲調査中に、窒息死



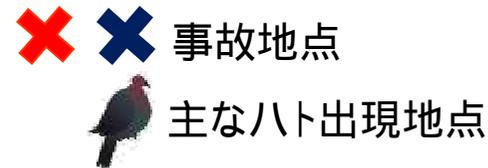
中ノ平

H25.7.10 ネコ被害
 ・パッションハウス内
 ・襲撃された痕跡(羽根が散乱)

トラブル別件数



- ネコ被害
- バードストライク
- 迷い込み
- 交通事故
- その他



希少昆虫類の保全対策（兄島オガサワラハンミョウ）

平成17～20年に生息が確認されていた21調査区中、平成23年には11調査区において消滅が確認されました。絶滅回避のため、生育環境の改善、域外保全などの対策を連携して進めています。

林野庁

生育環境保全の取組

オガサワラハンミョウの好む裸地環境が、外来植物のモクマオウやリュウキュウマツの侵入により悪化しています。そのため、外来植物駆除、落葉の除去など、生息環境の保全を図っています。



リターに覆われつつある巣穴

情報提供

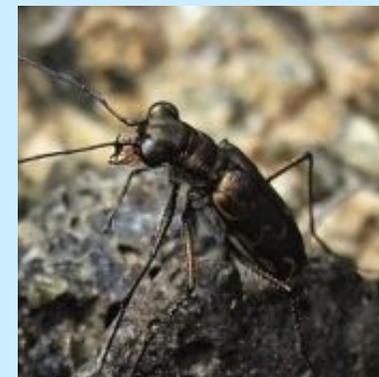
環境省

生息地調査

保全すべき重要生息地の抽出

域外保全

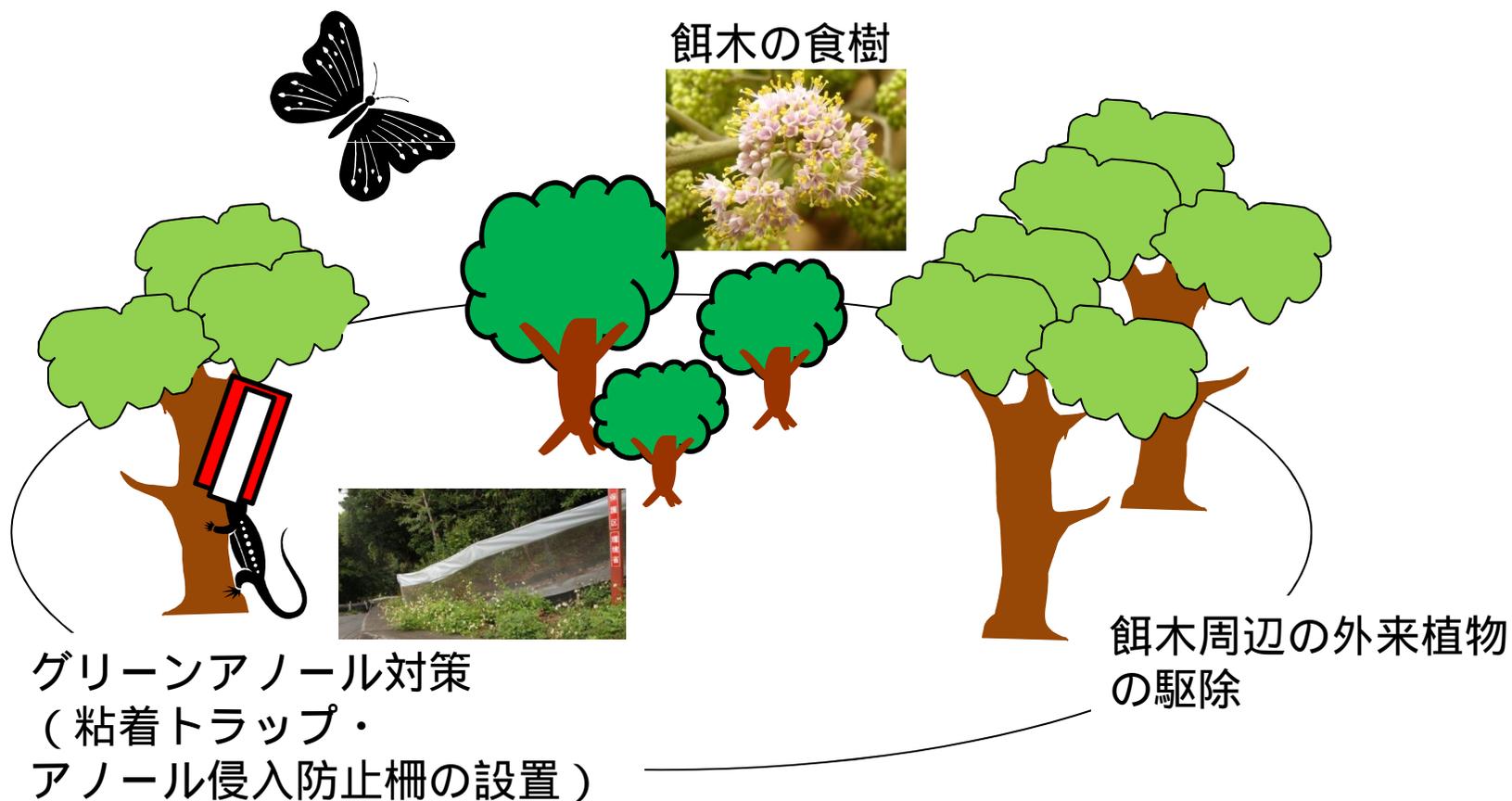
種の保存、さらには飼育技術を確立し、将来的には飼育個体を兄島に帰す（再導入）ことを目標に、内地の昆虫館で、飼育試験を行っています。



希少昆虫類の保全対策（オガサワラシジミ）

西浦地域におけるオガサワラシジミの保全計画

関係行政機関が、地元のシジミの会に協力を得ながら役割分担し、西浦地域におけるシジミにとって良い生育環境の確保に努めています



オガサワラオオコウモリ農作物被害対策事業

(小笠原村)

平成25年度については、前年度事業同様、オオコウモリに対する安全性、農作物被害防除効果及び耐久性が確認された防除施設の設置を希望する者（家庭菜園を含む農地等の耕作者）に対して、当該施設の設置、防除器具の設置に要する資材を無償で貸与する事業を実施する。

また、施設設置者の負担軽減を図るため、施設の設置について技術的な指導、助言を行い、防除施設の普及を促進させる。

農作物被害実態及び防除策設置希望調査、農作物被害防除対策保護管理マニュアル作成を実施し、事業の推進を図る。

本事業を継続していくことにより、島内の危険箇所を順次、安全な防除施設、防除器具に更新していき、オオコウモリの滅失等事故の防止に努める。

個別防除(バナナ)

個別防除(バナナ)



外来生物対策普及啓発事業（各機関）

1．村民ボランティアによる外来種駆除作業（小笠原村）

平成13年度より主に南島での外来種駆除作業を村民ボランティア参加のもと行い、外来種の駆除作業を通して、小笠原諸島の特異な自然環境を劣化させず後世に残すため、保存・保護していくという意識啓発を行うと共に、参加する村民ボランティアの自然学習の場とする。

実施年度	実施日	参加人数	実施場所
平成24年度	H24.7.14	30名	南島
平成25年度	H25.5.6	28名	兄島

2カ年の実績



駆除作業の様子

2．兄島視察会の開催（小笠原村）

実施日	参加人数	対象者
H25.10.31	20名	陸域ガイド
H26.2.1	28名	一般村民



学生を対象としたエコツアーリズム
（環境省と母島観光協会）

写真母島観光協会提供

3．環境教育に関する取組（各機関）

- ・ 学校教育との連携
- ・ 社会人を対象とした取組
- ・ 島外からの学生を対象とした取組